

第6回香南市学校等の規模適正化等基本計画検討会議 議事録（要旨）

日時：令和6年11月1日（金）15：00～17：30

場所：香南市役所 604、605 会議室

出席：教育長、教育次長、学校教育課長、こども課長、生涯学習課長、防災対策課長、企画財政課長、地域支援課長、香我美支所長、赤岡支所長、夜須支所長（代理）、吉川支所長、農林水産課長、建設課長、契約管財課長、赤岡小学校長、野市中学校長、こども課2名、事務局2名、JMC株式会社（業務委託業者）

○香南市学校等の規模適正化等基本方針概要版について

【説明】

令和5年10月に学校等の規模適正化等基本方針を策定し、令和6年2月にかけて保護者や地域住民等に対する説明会を実施した際、基本方針の資料が分りにくいという意見をいただいたことから、基本方針概要版を作成した。構成としては、前半部分は、人口減少に伴う児童・生徒・園児数の減少見込みに加え、南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域や自然災害の影響を受ける区域に立地する保・幼・小中学校があることなど、基本方針を策定するに至った経緯となっている。後半にかけては、今後の保・幼・小中学校の再編に係る基本的な考え方や整備方針などをまとめたものとなっている。

【協議内容】

概要版の構成やレイアウトについて意見をいただきたい。

- ・自然災害予測の赤岡小学校急傾斜地崩壊危険箇所はどこか。

学校等の規模適正化等基本方針に地図を載せている。

- ・河川の浸水予測の地図だが、令和6年10月2日に新たなマップが出ている。

令和5年10月に作成した基本方針の概要版をまとめたものになるが、最新の情報を反映したものに修正を行う。

○保護者及び地域住民等に説明を予定している再編パターンについて

【説明】

保護者や地域住民等からいただいたご意見等をもとに、保護者や地域住民等に提示する再編案について、学校教育課から小中学校の再編案、こども課から保育所・幼稚園の再編案について説明を行った。

【協議内容】

事務局から説明した再編パターンについて、あらゆる側面から考えても再編が不可能なものがあれば意見をいただきたい。また、併せて課題についても意見もいただきたい。

- ・新築に対する事業費が記載されているが、費用が発生すると思われる造成や道路整備などを考えると、建築費用に数十億円規模の加算になるとと思われるため、それも含めて考えていかなければいけないと思う。
- ・人口もどんどん減少していく中で、新設の段階から小規模校で、そこからさらに人口減少が進んでいくことを考えると、それが正しい示し方になるのか疑問に思う。
- ・提示する再編案の中で、どの再編案がベストか聞かれたらどう答えるのか。
- ・規模適正化を中心に考えるのか、津波対策を中心に考えるのか。
- ・基本方針に沿った形であれば両方叶えられるのでは。
- ・ソフト事業だけではなく、今ある公共施設の修繕などを考えると今後かなりの経費がかかってくる。施設と財政の両立をしていかないといけない。
- ・施設整備にかかる費用だけではなく、その後のランニングコストがどれくらいかかるのかも想定しておかないといけない。
- ・外部委員を入れて意見を聞く考え方はないのか。
- ・香南市は歩道が少ないところが多い。地域によって考え方も異なるが、保育所・幼稚園については、自力避難できない園児のことを思えば学校等の規模適正化とは別で考えるべき。優先的に保育所・幼稚園の安全対策を進めるべき。
- ・予算のことがあるので何とも言えないが、新設案は反対の声も少なくなると思う。
- ・財政状況が厳しいのは分かるが、教育にはある一定お金がかかることを考慮していただきたい。
- ・新築学校の建設を検討する場合には、視点を変えて校区を取り払って香南市どこからでも通えるようにするなど、特色あるカリキュラムにしたらどうか。
- ・津波避難タワーがあることを考えると、統合パターンをみの説明では厳しいと思う。
- ・この再編パターンは、絞っていく過程が長くなると思われる。
- ・あらゆる側面を考えて、もっと時間をかけて議論を重ねないと厳しいのではないか。

保護者や地域住民に提示する再編パターンについては、市長協議とする。